

# 各務小だより

各務小学校

校 報 12月号

令和3年12月1日



## 「人権」について考える

校 長 松原 里佳

朝夕の冷え込みに、冬の到来を感じる頃となりました。12月に入り、テレビや新聞などで「人権」という言葉にふれる機会が多くなります。それは、世界で統一して、12月4日～10日を「人権週間」、最終日の12月10日を「人権の日」と定めているからです。世界中の人々が人権について考えます。小学生向けの国語辞典には、「人権とは、人間が生まれた時からもっている自由・平等・生存などの人間としての権利」と書かれています。分かりやすく言うと、「人が幸せに生きる権利のこと」です。この権利は、人が人らしく生きるために必要なものであって、守られるべきものです。

各務小学校では、「人権」に関わって、児童会が中心となって、ふわふわ言葉を大切につかったり、友達を大切にする行動をとったりする「各務小ぽかぽかキャンペーン(11/15～12/3)」を、様々な立場の方が一緒に気持ちよく生活できるように考える「ひびきあい週間(11/24～30)」を、12月9日(木)には、「人権」について各学級で取り組んだり考えたりしたことを発表する「人権集会」を位置付けています。全校で人権について知り、自分にできることを考え実行する機会とします。

私たちの身近には、人権に関わる様々な問題があります。学校では、人権教育を大切にしています。特にこの期間、「人権」について、話題にしてください。また、次の3点について、ご家庭でも心がけてみてください。

### ○人に親切にする喜びを教える

日常生活で相手のことを思いやり、行動できることはたくさんあります。人に親切にして、お礼を言われると、うれしいと感じます。人に親切にすることが喜びに変わります。どんな些細なことにも「ありがとう」を伝えることで、自己有用感につながります。

### ○自分との違いで差別しないことを教える

何らかのハンディキャップをもつ人、外見が自分とは異なる人、自分とは異なる考え方や感じ方をする人…。社会には、自分とは異なる特質をもつ人がたくさんいます。その違いで他者を差別したり偏見をもったりするようなことは許さないといった態度を示すことで、他者を大切にする気持ちにつながります。

### ○家庭でもいじめについて話し合う

いじめは、社会的にも大きな問題となっています。人の命を奪ってしまう可能性のある卑劣な行為です。「いじめは絶対にしてはいけない。いじめをはやし立てることや、見て見ぬふりをすることも、同じくらい悪いことである。」と話し合うことで、いじめを許さないという気持ちを育てます。

私たち大人は、子どもの手本でありたいものです。保護者の皆様と学校とが一緒になって、他人の人権を尊重し、思いやりのある子どもたちを育てていきたいと考えています。

